

建築 協働
まちづくり

ときわ印刷リノベーション season3

2020

電気

建築コース
井口琉翔・小川未来
小濱士竜・田林颯馬
月森龍斗・松田侑香

電気コース
木建直也・藤田勇人



昨年に引き続き、ときわ印刷のリノベーションを行いました。現状の工事進捗率は80%程度であるため、100%を目指しました。
工事計画や進捗状況を確認し、相談しながら進めていけるように各作業を数人で行いました。
施工速度や他者と協働することで江津本町やときわ印刷の関係人口の増加を図るため、「おてつたび」や「いわみん」を活用し、地域を巻き込む試みも行いました。



「電ボラ52」とは、3年間の授業や実習で学んできた知識や技能を生かして、今まで育んでいただいた地域社会に恩返しすることを目的とした「電気ボランティア江津工業高校」のことで、
また、実際の現場で作業を行うことにより、電気工事に対する関心を深め、更なる技能・技術の向上と新たな知識の習得ができ、私たちの将来に役立つと考えています。



江津工業だから実現できる クラスメイト コラボ★

建築コース
×
電気コース

電気工事についての知識や技術をたくさん学ぶことができてよかったです。初めて使うものがたくさんあり、使い慣れるまでに時間がかかったかかともいい経験ができました。これからの仕事に活かしていきたいです。 木建直也

今年は、例年行っていた高齢者独居宅や公共施設での作業をすることができず残念でした。ときわ印刷の予定していた作業を終えることができてよかったです。今後は実際に現場に出て作業を行うので、今回の経験を元に現場で活躍できるよう頑張りたいです。 藤田 勇人



休校や他プロジェクトへの人的資源の分散から年度当初の予定から大幅に遅れをとってしまい完成させることができませんでした。

しかし、地域を巻き込んでイベント化するなど、大きな視点からまちづくりや工事を進める新しい試みを行うことができました。

また、今年は電気工事の進捗が大きく、1階の電気設備を終えることができました。予算の関係で灯具が購入できない部分があり、その設置や2階一部の照明設備工事、1階間仕切り壁の塗装と2階天井仕上げ、2階壁面塗装の残部が課題として残りました。



図面上では簡単に寸法が出せますが、実際はミリ単位で修正することも多く神経をつかいました。使ったことのない電動工具ばかりで当初は失敗が多かったです。それでも、使っているうちに慣れ、作業効率も上がり綺麗に仕上げることができました。
小濱士竜
高校生のうちにこのようなプロジェクトに参加することはなかなかないので、良い経験ができたことにとても感謝しています。
井口琉翔



建築コースの
詳細はこちらから↓



電気コースの
詳細はこちらから↓

